

ぶらり人生 五十三次

北海道への思いからこの国が抱える問題まで。
 幸せな未来のために私たちが今、すべきこと。

●「はじめに」より要約

本書は自叙伝的エッセイと言えるでしょうか。

このエッセイは、北の大地「北海道」との出会いから始まり、大恩をいただいたこの地で再び暮らして、今日に至る約70年余りを辿ったお話です。再移住した直近の15年間は、70歳を超えて今までより広い世界と、多くの人々に出会い、人生を見つめ直す機会に恵まれたのです。

「北海道に住みたい」という思いから、国の安全保障(食料・エネルギー・外交)への貢献、「人格宣言」まで。

その終着点は「幸せになる」と同時に、この北の大地や愛すべき日本を「沈没させない」です。戦時中の疎開、北海道での勤務、大好きな北海道への再移住まで、振り返ればいつも青春だったように思えます。

■CONTENTS■

- | | |
|-----------------|--------------|
| 第1章 北海道に移住する | 第6章 小さな国から学ぶ |
| 第2章 『北海道200年構想』 | 第7章 仕事でのこと |
| 第3章 恩師・恩人 | 第8章 家族と自分 |
| 第4章 主義と政治 | 第9章 ハピネス |
| 第5章 SDGs | 第10章 バトンタッチ |



著者略歴

久保 信彦(くぼ のぶひこ)

1936年大阪府大阪市生まれ。戦時中は香川県高松市に疎開。戦後大阪に戻り、1956年大阪市立大学(現・大阪公立大学)商学部に入學。大学3年生の夏に初めて訪れた北海道の虜になる。

1960年松下電工(現・パナソニックホールディングス)入社。同年札幌営業所に着任し北海道で17年、東北で10年、大阪本社で10年余、営業企画職として全国奔走、1997年に退職。

2007年に念願の北海道移住を果たす。その後、北海道の自立と国への貢献の手掛かりを求めて調査を開始。著書に『北海道200年構想〈2068年〉までに北海道の価値を倍化する』(柏艚舎)。北海道経済連合会、北海道経済同友会、はまなす財団、北海道再生可能エネルギー振興機構、私設北海道開拓使の会、アニマルウェルフェア畜産協会等に所属、「構想」の実現に向けて活動している。

貴店印・帳合

注文数

ぶらり人生 五十三次

久保 信彦/著

定価：本体1,200円(税別)

ISBN978-4-910739-05-2

発売日：2022年9月30日

四六判並製/本文212頁

PHPエディターズ・グループ

ご担当

様

冊

発行

PHPエディターズ・グループ

〒135-0061
 東京都江東区豊洲5-6-52 11階
 ☎ 03-6204-2931
 FAX 03-6204-2932

ご注文はJRCへ▶▶▶ FAX 03-3294-2177

※返品条件付き注文扱い
 すべての取次への出荷が可能です。